

田園環境都市おやまビジョン完成記者会見

次 第

日時：令和 7 年 3 月 28 日（金）

14:00～15:00

会場：小山市役所 6 階

1 開会

2 出席者紹介

3 記者発表

（１） 市長発表

（２） ビジョン取組みについて

（３） ビジョンの構成について

（４） 風土性調査について

（５） おやま市民ビジョン委員よりコメント

4 質疑応答

1 田園環境都市おやまビジョン策定の体制と取組み

市民と行政が主体となって、専門家の協力を得ながら、協働して「調べる・共有する」「学び合う」「語り合う」という3つの実践を重ねながら、30年後（2054年）の全ての市民のウェルビーイングの実現を目指して、ビジョンを策定しました。

1-1 ビジョン策定の体制

このビジョンは、全ての市民のウェルビーイングの実現を目指すものであり、市民と行政の双方がそれぞれ意見を出し合い、対話しながら共通の将来像を見出していく必要がありました。

そこで官民協働による取組みを進める体制として、公募や依頼により選出された市民と、担当課や関連部署の職員からなる「おやま市民ビジョン会議」を設置しました。

さらに、市民の多様な意見を多角的な視点で捉えビジョンに反映させるため、市職員による組織横断的なプロジェクトチームを設置しました。

市民ビジョン会議については、令和5（2023）年8月から令和7（2025）年3月までの間に計20回開催し、各種の調査結果や学びを基に、市民委員と市職員が一体となって意見を交わし、検討を重ね、ビジョンを策定しました。

1-2 「調べる」「共有する」取組み

(1) 風土性調査

小山市では、合併前のもともとの10地区（小山・大谷・間々田・生井・寒川・豊田・中・穂積・桑・絹地区）が本市の多様性を形作っており、この地区ごとの特性は、これから先も大切にしていかなければならないものです。

そのため、10地区それぞれの自然や成り立ち、文化・伝統、住民の暮らしや生業、意識などを確認することによって、これからの進むべき道が見えてくるものと考えました。

こうした観点から、「風土性調査」と名付けた地区ごとの調査と、それを基礎として地区別ビジョンの策定を行うことをビジョン全体の土台としました。

なお、大谷地区は南北に広く地域の特性が異なることから、便宜的に北部・中部と南部とに分け、本来の10地区を11地区と設定しました。

【調査手法】

① 現地調査（踏査）

専門地域調査士の資格を持つ調査員が現地を歩いて行う調査

② アンケート調査

地域の現状や課題、それらに対する意見などを住民に尋ねる調査

③ 聞き取り調査

グループインタビュー：自治会役員、子育て世代、農業者という属性による3回のインタビューを基本に、各地区において3～5つのグループで実施

個別聞き取り：必要だと思われる事案について個別に聞き取り

④ 文献調査

各調査に必要な情報収集のため、地区に関連する各種文献について調査

(2) 行政分野別市民アンケート

地域的な特色だけではなく、市全域に関わる行政分野別の視点から市民意識を把握するために実施し、延べ 13,756 件の回答がありました。

【アンケート項目】

■ 大項目（市域全体に関わること）

■ 分野

- | | |
|---------------|---------------|
| ①生涯学習・文化・スポーツ | ②福祉・医療・健康・介護 |
| ③教育・子育て | ④農業・自然 |
| ⑤商工業 | ⑥コミュニティ・多文化共生 |
| ⑦防犯・防災 | ⑧まちづくり |
| ⑨交通環境・公共施設 | ⑩関係人口・行政運営 |

1-3「学び合う」取組み

基本的な知識や最新の知見、30 年後の未来を考えるうえで欠かすことのできないテーマ（題材）について学び・理解するために、「学び合うセミナー」として、専門の知識を持つ方々によるレクチャーを受け、市民と職員が共に学び合いました。

01	2022/ 1/25	水循環から考える持続可能なまちづくり 講師：指出 一正 氏（ソトコト編集長）
02	2022/ 3/24	持続可能なまちづくりと、これからの行政 講師：毛塚 幹人 氏
03	2022/ 6/20	環境と経済・社会の調和を考える 講師：廣瀬 俊介 氏（LLP風景社）
04	2022/10/26	ローカルSDGsとパートナーシップ 講師：高橋 朝美 氏（関東EPO）
05	2023/ 8/28	小山版SDGsを探る 地域社会の持続可能性を支えるものは？ 講師：高橋 朝美 氏（関東EPO）
06	2023/10/12	私やあなたの暮らしの「豊かさの指標」を考える 講師：山口 覚 氏（津屋崎ランチLLP）
07	2023/11/16	気候変動時代に、おやまならではの共生を考える 講師：高橋 若菜 氏（宇都宮大学国際学部教授）
08	2024/ 4/ 6	自然のめぐみも人の繋がりも地域で好循環を！ 講師：野村 久徳 氏（岐阜県飛騨市）
09	2024/ 9/28	私たちはローカルで幸せを見つける～地域のかかわりとウェルビーイング～ 講師：指出 一正 氏（ソトコト編集長）

1-4「語り合う」取り組み

「調べる」「学び合う」過程で得た知見を基に、様々な立場の人々が話し合う機会を創出するため、テーマを設定したワークショップや、地区の住民が合同で集まる地区合同ワークショップ、地区ごとの風土性調査報告会、前年度の成果を報告し意見を募る全体報告会を開催しました。ワークショップのテーマについては、調査の中で明らかになった課題や、学び合うセミナーや市民ビジョン会議の場で得られた知見から抽出し設定しました。

参加者各人が自分の考えを語り、また自分と立場や考え方が異なる人の意見を聞く過程で、一方向の視点だけでは得られないアイデアや気付けない問題を発見することができ、これまでの取り組みから得られた知見をさらに深化させながら、その成果をビジョンづくりの素材としました。

このように、ビジョン委員や地域住民、関係団体、職員などが語り合うことで、共創によるまちづくりの実践・推進を図ることができました。

01	2023/ 1/23	職員対象：ローカルSDGSマップ作り 講師：高橋 朝美 氏（関東EPO）
02	2023/ 1/31	生井地区・豊田地区・小山地区 3地区合同ワークショップ
03	2023/ 6/17	田園環境都市おやまのまちづくり初年度成果報告会
04	2023/11/ 2	無くしたい「不幸せ」と守りたい「幸福」からおやまのウェルビーイングを考える
05	2023/12/ 2	自然のめぐみ（おやまの生態系サービス）からウェルビーイングな未来を考える
06	2024/ 1/20	おやまの未来に、地域を支える「ひとのつながり」をどうつくる
07	2024/ 2/ 2	特別編：ファーマーズミーティング 都市部と農村部、農家と非農家の関係をどうつなぐか
08	2024/ 2/18	大谷北部・中部地区・大谷南部地区・桑地区・絹地区 4地区合同ワークショップ
09	2024/ 5/18	特別編：高校生・大学生参加「私たちが描く おやまの未来 座談会」
10	2024/ 6/ 1	田園環境都市おやまビジョン中間報告会
11	2024/ 6/22	人口減少時代の地域づくりとその支え手を考える 講師：石井 大一郎 氏（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）
12	2024/ 8/25	田園環境都市おやまのライフスタイルを考える 講師：西山 未真 氏（宇都宮大学農学部教授）
13	2024/10/ 5	間々田地区・寒川地区・中地区・穂積地区 4地区合同ワークショップ
14	2024/10/13	将来世代とともに考えるウェルビーイングな未来実現への道

2 田園環境都市おやまビジョンの構成

巻頭言

田園環境都市おやまビジョン策定に際して 小山市長 浅野 正富

第1章 「田園環境都市おやまビジョン」について

ビジョン策定の目的や市政における位置付け、ビジョン策定に向けた体制および取組内容について。

第2章 ビジョンの基盤とするもの

全ての市民のより良い暮らし（ウェルビーイング）の実現が、豊かな自然の恵み（生態系サービス）に支えられることを示します。自然の恵みを将来にわたって私たちが受け続けるために、市域全体の自然の保全・回復がウェルビーイングの実現の基本条件としています。

第3章 風土性調査から見えてくる課題

風土性調査を基に、地区ごとの市民意識をビジョン策定のための客観的要件として分析し、解決すべき課題として 18 項目を抽出しています。

第4章 田園環境都市おやま・地区別ビジョン

風土性調査の基礎として 11 地区ごとのビジョンを策定しました。地区の未来について考えられるあらゆる可能性を描き、その実現に向け重点を置く項目と取組方針をまとめ、市民からの提案や取組みのアイデアも紹介しています。

第5章 田園環境都市おやま・行政分野別ビジョン

風土性調査や行政分野別市民アンケートなどを基に、市民や地区だけでは解決できない諸問題を行政が解決すべき市全体の課題として 17 分野に分け、目指すべき 30 年後の姿を描きました。

第6章 田園環境都市おやまビジョン

地区別ビジョンをたて糸に、地域を横断して自治体の問題である行政分野別ビジョンをよこ糸に織り上げた田園環境おやまビジョン。折り重なった姿を、持続可能な田園環境都市としての望ましい空間像、都市部と農村部の関係性を結び直すことで生まれる循環型社会の姿、そして、それらの下で実現できる生活のビジョンという 3 部構成で描きます。